

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
|--------|--|--|
| 信託期間 | 2022年6月10日まで（2007年8月14日設定） | |
| 運用方針 | 主として証券投資信託である新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、新興国の債券に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主要運用対象 | 三菱UFJ新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型） | 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| | 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用） | 新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を通じて新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合があります。 |
| | マネー・マーケット・マザーファンド | わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。 |
| 主な組入制限 | 投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。 | |
| 分配方針 | 経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定し、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 | |

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）



第117期（決算日：2017年7月10日）
 第118期（決算日：2017年8月10日）
 第119期（決算日：2017年9月11日）
 第120期（決算日：2017年10月10日）
 第121期（決算日：2017年11月10日）
 第122期（決算日：2017年12月11日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）」は、去る12月11日に第122期の決算を行いましたので、法令に基づいて第117期～第122期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | （参考指数） JPモルガンGBI-EM グローバルダイバー シファイド(円換算ベース) | | 債券 組入比率 | 債券 先物比率 | 投資信託 組入比率 | 純資産 総額 |
|-------------------|-------|----------|-----------------------|--|------------------|------------|------------|--------------|-----------|
| | (分配落) | 税金 分配 | み 金 騰 落 率 | 期 騰 落 率 | 期 騰 落 率 | | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | % | 百万円 |
| 93期(2015年7月10日) | 6,252 | 25 | △2.6 | 31,367.33 | △2.6 | 0.2 | — | 98.0 | 2,986 |
| 94期(2015年8月10日) | 6,157 | 25 | △1.1 | 31,007.83 | △1.1 | 0.2 | — | 98.0 | 2,850 |
| 95期(2015年9月10日) | 5,591 | 25 | △8.8 | 28,190.69 | △9.1 | 0.2 | — | 97.5 | 2,490 |
| 96期(2015年10月13日) | 5,795 | 25 | 4.1 | 29,728.29 | 5.5 | 0.2 | — | 97.6 | 2,536 |
| 97期(2015年11月10日) | 5,739 | 25 | △0.5 | 29,513.67 | △0.7 | 0.2 | — | 97.4 | 2,473 |
| 98期(2015年12月10日) | 5,555 | 25 | △2.8 | 28,863.78 | △2.2 | 0.2 | — | 97.6 | 2,353 |
| 99期(2016年1月12日) | 5,149 | 25 | △6.9 | 26,763.22 | △7.3 | 0.2 | — | 96.4 | 2,153 |
| 100期(2016年2月10日) | 5,127 | 25 | 0.1 | 26,995.17 | 0.9 | 0.2 | — | 96.5 | 2,110 |
| 101期(2016年3月10日) | 5,249 | 25 | 2.9 | 27,977.83 | 3.6 | 0.2 | — | 96.5 | 2,147 |
| 102期(2016年4月11日) | 5,132 | 25 | △1.8 | 27,734.76 | △0.9 | 0.2 | — | 96.4 | 2,075 |
| 103期(2016年5月10日) | 5,120 | 25 | 0.3 | 27,784.74 | 0.2 | 0.1 | — | 96.4 | 2,064 |
| 104期(2016年6月10日) | 5,101 | 25 | 0.1 | 28,017.04 | 0.8 | 0.1 | — | 97.0 | 2,010 |
| 105期(2016年7月11日) | 4,854 | 25 | △4.4 | 26,717.57 | △4.6 | 0.1 | — | 96.5 | 1,885 |
| 106期(2016年8月10日) | 4,991 | 25 | 3.3 | 27,651.82 | 3.5 | 0.1 | — | 96.6 | 1,909 |
| 107期(2016年9月12日) | 4,939 | 25 | △0.5 | 27,745.34 | 0.3 | 0.0 | — | 96.5 | 1,873 |
| 108期(2016年10月11日) | 5,025 | 25 | 2.2 | 28,342.80 | 2.2 | 0.1 | — | 96.6 | 1,893 |
| 109期(2016年11月10日) | 4,988 | 25 | △0.2 | 27,964.06 | △1.3 | 0.1 | — | 96.6 | 1,868 |
| 110期(2016年12月12日) | 5,151 | 25 | 3.8 | 29,371.99 | 5.0 | 0.0 | — | 96.6 | 1,898 |
| 111期(2017年1月10日) | 5,169 | 25 | 0.8 | 29,728.67 | 1.2 | 0.0 | — | 96.5 | 1,888 |
| 112期(2017年2月10日) | 5,229 | 25 | 1.6 | 30,095.15 | 1.2 | 0.0 | — | 96.7 | 1,900 |
| 113期(2017年3月10日) | 5,235 | 25 | 0.6 | 30,316.46 | 0.7 | 0.0 | — | 96.7 | 1,848 |
| 114期(2017年4月10日) | 5,197 | 25 | △0.2 | 30,297.26 | △0.1 | 0.0 | — | 96.5 | 1,828 |
| 115期(2017年5月10日) | 5,291 | 25 | 2.3 | 31,284.29 | 3.3 | — | — | 96.5 | 1,840 |
| 116期(2017年6月12日) | 5,242 | 25 | △0.5 | 31,274.79 | △0.0 | — | — | 96.6 | 1,824 |
| 117期(2017年7月10日) | 5,363 | 25 | 2.8 | 31,816.67 | 1.7 | — | — | 96.1 | 1,877 |
| 118期(2017年8月10日) | 5,284 | 25 | △1.0 | 31,671.47 | △0.5 | — | — | 96.5 | 1,815 |
| 119期(2017年9月11日) | 5,352 | 25 | 1.8 | 32,379.86 | 2.2 | — | — | 97.3 | 1,804 |
| 120期(2017年10月10日) | 5,324 | 25 | △0.1 | 32,465.18 | 0.3 | — | — | 96.7 | 1,766 |
| 121期(2017年11月10日) | 5,258 | 25 | △0.8 | 32,201.17 | △0.8 | — | — | 96.6 | 1,729 |
| 122期(2017年12月11日) | 5,296 | 25 | 1.2 | 32,758.36 | 1.7 | — | — | 96.2 | 1,733 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) JPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。JPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイド(円換算ベース)とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基準 価 額 | | (参 考 指 数) J PモルガンGB I-EM グロ ー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円換 算 ベ ー ス) | | 債 券 組 入 比 率 | 債 券 先 物 比 率 | 投 資 信 託 証 書 組 入 比 率 |
|-------|-----------------------|--------|-------|---|-------|----------------|----------------|------------------------|
| | | 騰 落 率 | 騰 落 率 | 騰 落 率 | 騰 落 率 | | | |
| 第117期 | (期 首) 2017年 6 月12日 | 円 | % | | % | % | % | % |
| | 6 月 末 | 5,242 | — | 31,274.79 | — | — | — | 96.6 |
| | 2017年 7 月10日 | 5,344 | 1.9 | 31,744.16 | 1.5 | — | — | 96.1 |
| 第118期 | (期 末) 2017年 7 月10日 | 5,388 | 2.8 | 31,816.67 | 1.7 | — | — | 96.1 |
| | 7 月 末 | 5,363 | — | 31,816.67 | — | — | — | 96.1 |
| | 2017年 8 月10日 | 5,337 | △0.5 | 31,848.89 | 0.1 | — | — | 96.6 |
| 第119期 | (期 末) 2017年 8 月10日 | 5,309 | △1.0 | 31,671.47 | △0.5 | — | — | 96.5 |
| | 8 月 末 | 5,284 | — | 31,671.47 | — | — | — | 96.5 |
| | 2017年 8 月10日 | 5,387 | 1.9 | 32,368.41 | 2.2 | — | — | 96.8 |
| 第120期 | (期 末) 2017年 9 月11日 | 5,377 | 1.8 | 32,379.86 | 2.2 | — | — | 97.3 |
| | 9 月 末 | 5,352 | — | 32,379.86 | — | — | — | 97.3 |
| | 2017年 9 月11日 | 5,419 | 1.3 | 32,822.58 | 1.4 | — | — | 96.7 |
| 第121期 | (期 末) 2017年10月10日 | 5,349 | △0.1 | 32,465.18 | 0.3 | — | — | 96.7 |
| | 10 月 末 | 5,324 | — | 32,465.18 | — | — | — | 96.7 |
| | 2017年10月10日 | 5,260 | △1.2 | 32,215.86 | △0.8 | — | — | 96.5 |
| 第122期 | (期 末) 2017年11月10日 | 5,283 | △0.8 | 32,201.17 | △0.8 | — | — | 96.6 |
| | 11 月 末 | 5,258 | — | 32,201.17 | — | — | — | 96.6 |
| | 2017年11月10日 | 5,254 | △0.1 | 32,395.22 | 0.6 | — | — | 96.7 |
| 第122期 | (期 末) 2017年12月11日 | 5,321 | 1.2 | 32,758.36 | 1.7 | — | — | 96.2 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

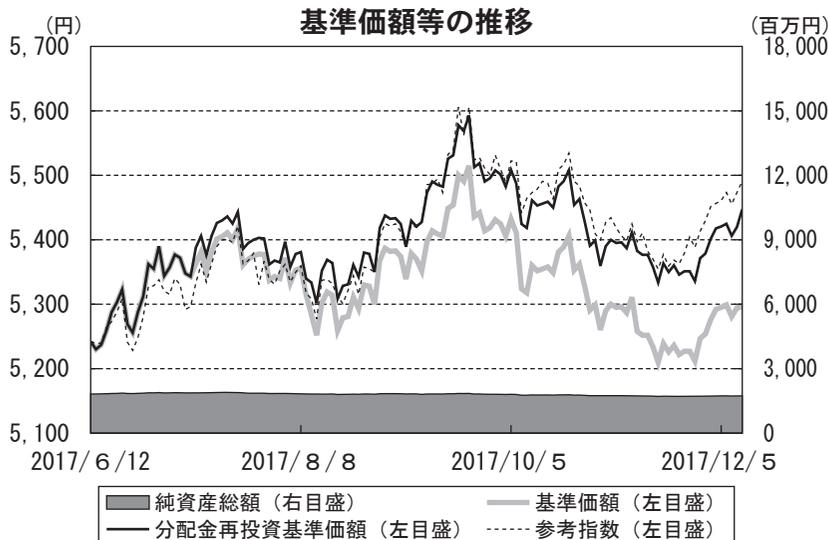
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第117期～第122期：2017/6/13～2017/12/11）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第117期首：5,242円
 第122期末：5,296円
 （既払分配金 150円）
 騰落率：3.9%
 （分配金再投資ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

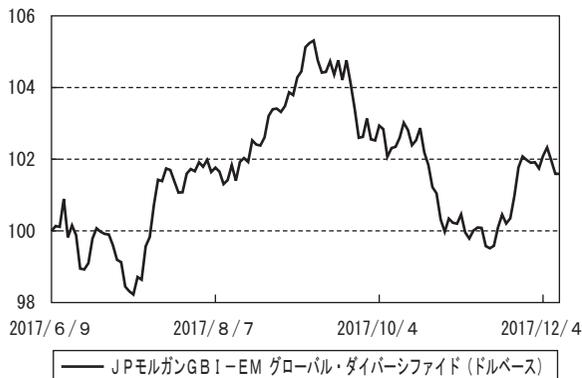
上昇要因

ブラジルの金利が低下したことや債券の利子収入を獲得したこと、ポーランドズロチが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第117期～第122期：2017/6/13～2017/12/11）

債券市況の推移
（当作成期首を100として指数化）

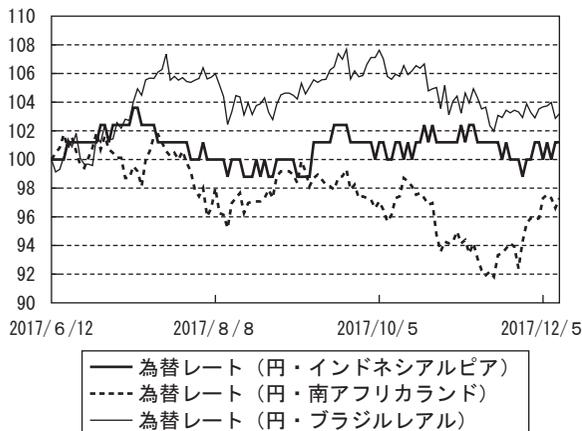


（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

新興国通貨建て債券市況（米ドルベース）は、当作成期首に比べ上昇しました。新興国通貨が一部を除き対米ドルで下落したものの、原油価格が堅調に推移し市場参加者のリスク選好度が改善したことや、継続して新興国債券市場への資金流入が見られたことなどを背景に、債券市況は上昇しました。国別で見ると、ブラジルでは、インフレ率が中央銀行の目標値を下回る水準で推移する中、中央銀行が積極的なペースで政策金利の引き下げを実施することの見方が広がったことなどが影響し、債券市況は上昇しました。一方トルコでは、当作成期を通じてインフレ率が継続して上昇したことや、エルドアン大統領による中央銀行に対する政治的圧力を背景に金融政策に対する不透明感が高まったことなどが影響し、債券市況は下落しました。

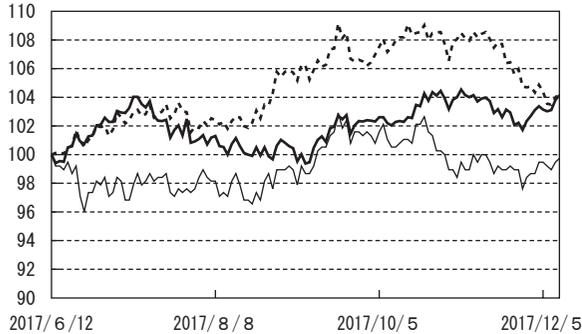
為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

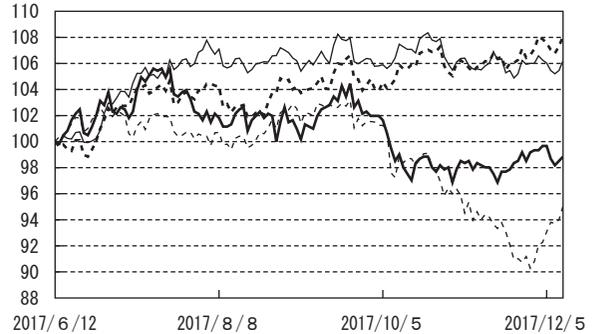
当作成期を通じて見ると、新興国通貨は対円でまちまちとなりました。通貨別にみると、ポーランドズロチは、インフレ率の上昇を背景に、中央銀行による将来の利上げに対する期待が高まったことなどが影響し、対円で上昇しました。一方トルコリラでは、イラクのクルド人自治区の独立問題などを背景に地政学的リスクが高まったことや、エルドアン大統領による中央銀行に対する政治的圧力を背景に金融政策に対する不透明感が高まったことなどが影響し、対円で下落しました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



— 為替レート (円・ペルーヌエボソル)
 - - - 為替レート (円・チリペソ)
 - - - 為替レート (円・コロンビアペソ)

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



— 為替レート (円・メキシコペソ)
 - - - 為替レート (円・ポーランドズロチ)
 - - - 為替レート (円・ハンガリーフォリント)
 - - - 為替レート (円・トルコリラ)

◎国内短期金融市場

- ・当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、マイナス金利の適用以降であることから、マイナス圏で推移しました。2017年12月11日のコール・レートは-0.036%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）＞

- ・投資信託証券である新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）への投資を通じて、新興国通貨建て債券を高位に組み入れるとともに、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を継続しました。

＜新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）＞

基準価額は当作成期首に比べ4.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国現地通貨建債券マザーファンドを通じて、実質的に新興国10カ国の国債など（クレジット・リンク・ノートを含む）を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

- ・当作成期では、構造改革の進展が期待され、アジア地域内で相対的に利回りが高いインドネシアや、利回りが相対的に高く、インフレ率などの経済ファンダメンタルズが安定化していると考えられるブラジルなどを中心に組み入れました。

◎金利戦略

- ・金利変動による影響を抑制するため、短期債を中心に投資を行う一方、メキシコやペルーなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的であると考えられる長期ゾーンの債券に投資しました。
- ・当作成期間を通じて見ると、ブラジルの金利が低下したことや債券の利子収入を獲得したこと、ポーランドズロチが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2017年6月12日）

| 格付 | 比率 | 銘柄数 |
|------|-------|-----|
| AAA格 | 0.0% | 0 |
| AA格 | 6.7% | 1 |
| A格 | 39.5% | 5 |
| BBB格 | 39.8% | 4 |
| BB格 | 11.4% | 2 |
| B格以下 | 0.0% | 0 |
| 無格付 | 0.0% | 0 |

作成期末（2017年12月11日）

| 格付 | 比率 | 銘柄数 |
|------|-------|-----|
| AAA格 | 0.0% | 0 |
| AA格 | 6.7% | 1 |
| A格 | 32.7% | 5 |
| BBB格 | 44.7% | 5 |
| BB格 | 12.7% | 1 |
| B格以下 | 0.0% | 0 |
| 無格付 | 0.0% | 0 |

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付は以下の3社の採用格付会社のうち、最も高い格付を採用しています。
 - ・S&Pグローバル・レーティング社（S&P）
 - ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス社（Moody's）
 - ・フィッチ・レーティングス社（FitchRatings）
- ・格付を取得していない場合は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクによる独自の格付を採用しています。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2017年6月12日）

| | |
|---------|------|
| 最終利回り | 6.5% |
| 直接利回り | 7.1% |
| デュレーション | 4.1年 |

作成期末（2017年12月11日）

| | |
|---------|------|
| 最終利回り | 6.6% |
| 直接利回り | 7.1% |
| デュレーション | 3.7年 |

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等の価格に対する年間のクーポン収入の割合を加重平均したものです。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・現地ベースで算出しています。

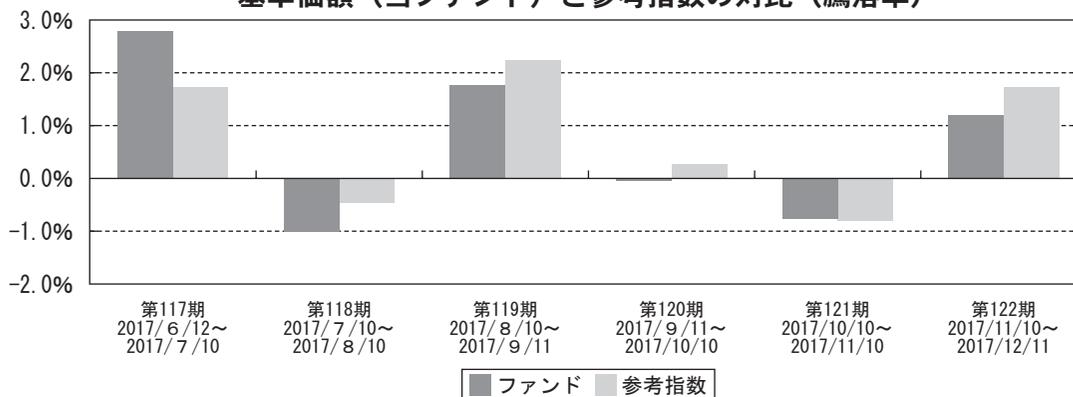
<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第117期～第122期：2017/6/13～2017/12/11）

基準価額（当ファンド）と参考指数の対比（騰落率）



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はJPモルガンGBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 | 第121期 | 第122期 |
|-----------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2017年6月13日～ 2017年7月10日 | 2017年7月11日～ 2017年8月10日 | 2017年8月11日～ 2017年9月11日 | 2017年9月12日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月10日 | 2017年11月11日～ 2017年12月11日 |
| 当期分配金 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 |
| （対基準価額比率） | 0.464% | 0.471% | 0.465% | 0.467% | 0.473% | 0.470% |
| 当期の収益 | 23 | 23 | 25 | 25 | 18 | 22 |
| 当期の収益以外 | 1 | 1 | — | — | 6 | 2 |
| 翌期繰越分配対象額 | 369 | 367 | 368 | 368 | 362 | 359 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）＞

◎今後の運用方針

- ・投資信託証券への投資を通じて新興国通貨建て債券を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

＜新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）＞

◎運用環境の見通し

- ・新興国では、中間層の拡大を通じた消費市場の成長が見込まれることなどから、内需主導の相対的に高い経済成長が期待されます。また、一部の国においては、構造改革や金融政策の効果などからファンダメンタルズの改善が見られており、新興国全体としても経済環境が安定していることはポジティブな要因となると考えています。債券市場については、世界的に景気が安定しており、インフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めへ転換する可能性は低く、債券市場は全般的に安定的な推移が見込まれます。主要先進国と比較して新興国の金利水準が高いことから、中長期的には相対的に高水準の金利収入の獲得が期待できると見ています。為替市場は、総じて見ると、資源輸出国通貨を中心にファンダメンタルズ対比で割安な水準にあると考えます。

◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当等収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年6月13日～2017年12月11日)

| 項 目 | 第117期～第122期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-------------|-----------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 | % | (a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) |
| (投 信 会 社) | (7) | (0.130) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (17) | (0.324) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.022) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 0 | 0.002 | (b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| 合 計 | 25 | 0.477 | |
| 作成期中の平均基準価額は、5,333円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年6月13日～2017年12月11日)

投資信託証券

| 銘 柄 | 第117期～第122期 | | | |
|-------------------------------|-------------|-----|---------|---------|
| | 買 付 | | 売 付 | |
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 国内 | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 新興国現地通貨建て債券ファンド F (適格機関投資家専用) | — | — | 231,928 | 121,200 |

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月13日～2017年12月11日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）>

| 区分 | 第117期～第122期 | | | | | |
|--------|-------------|--------------------|---------------|------------|--------------------|---------------|
| | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
| 投資信託証券 | 百万円 — | 百万円 — | % — | 百万円 121 | 百万円 121 | % 100.0 |

<マネー・マーケット・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年12月11日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘柄 | 第116期末 | | 第122期末 | |
|------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|
| | 口数 | 口数 | 評価額 | 比率 |
| 新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用) | 千口 3,450,281 | 千口 3,218,352 | 千円 1,667,428 | % 96.2 |
| 合計 | 3,450,281 | 3,218,352 | 1,667,428 | 96.2 |

(注) 比率は三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

| 銘柄 | 第116期末 | 第122期末 | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| マネー・マーケット・マザーファンド | 千口 5,226 | 千口 5,226 | 千円 5,322 |

○投資信託財産の構成

(2017年12月11日現在)

| 項 目 | 第122期末 | |
|-------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投資信託受益証券 | 千円 1,667,428 | % 95.6 |
| マネー・マーケット・マザーファンド | 5,322 | 0.3 |
| コール・ローン等、その他 | 71,993 | 4.1 |
| 投資信託財産総額 | 1,744,743 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第117期末 | 第118期末 | 第119期末 | 第120期末 | 第121期末 | 第122期末 |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2017年7月10日現在 | 2017年8月10日現在 | 2017年9月11日現在 | 2017年10月10日現在 | 2017年11月10日現在 | 2017年12月11日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 1,888,244,877 | 1,826,524,015 | 1,838,502,040 | 1,783,123,336 | 1,740,740,066 | 1,744,743,131 |
| コール・ローン等 | 77,735,216 | 69,476,908 | 69,091,383 | 58,624,842 | 64,907,741 | 60,092,275 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 1,805,187,366 | 1,751,724,812 | 1,756,388,362 | 1,707,219,275 | 1,670,510,030 | 1,667,428,561 |
| マネー・マーケット・マザーファンド(評価額) | 5,322,295 | 5,322,295 | 5,322,295 | 5,322,295 | 5,322,295 | 5,322,295 |
| 未収入金 | — | — | 7,700,000 | 2,100,000 | — | 11,900,000 |
| 未収配当金 | — | — | — | 9,856,924 | — | — |
| (B) 負債 | 10,444,035 | 10,565,671 | 34,113,832 | 17,008,642 | 10,947,205 | 11,237,652 |
| 未払収益分配金 | 8,753,997 | 8,592,185 | 8,427,798 | 8,293,869 | 8,225,305 | 8,182,559 |
| 未払解約金 | 329,765 | 460,457 | 24,163,155 | 7,335,948 | 1,295,878 | 1,659,252 |
| 未払信託報酬 | 1,355,527 | 1,507,828 | 1,517,557 | 1,374,097 | 1,421,084 | 1,391,029 |
| 未払利息 | 136 | 71 | 160 | 55 | 104 | 81 |
| その他未払費用 | 4,610 | 5,130 | 5,162 | 4,673 | 4,834 | 4,731 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 1,877,800,842 | 1,815,958,344 | 1,804,388,208 | 1,766,114,694 | 1,729,792,861 | 1,733,505,479 |
| 元本 | 3,501,598,810 | 3,436,874,009 | 3,371,119,369 | 3,317,547,876 | 3,290,122,327 | 3,273,023,616 |
| 次期繰越損益金 | △1,623,797,968 | △1,620,915,665 | △1,566,731,161 | △1,551,433,182 | △1,560,329,466 | △1,539,518,137 |
| (D) 受益権総口数 | 3,501,598,810口 | 3,436,874,009口 | 3,371,119,369口 | 3,317,547,876口 | 3,290,122,327口 | 3,273,023,616口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 5,363円 | 5,284円 | 5,352円 | 5,324円 | 5,258円 | 5,296円 |

○損益の状況

| 項 目 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 | 第121期 | 第122期 |
|------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2017年6月13日～ 2017年7月10日 | 2017年7月11日～ 2017年8月10日 | 2017年8月11日～ 2017年9月11日 | 2017年9月12日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月10日 | 2017年11月11日～ 2017年12月11日 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益 | 8,621,149 | 9,511,170 | 9,042,106 | 9,854,483 | 7,474,063 | 7,721,316 |
| 受取配当金 | 8,624,415 | 9,514,552 | 9,045,402 | 9,856,924 | 7,476,411 | 7,724,047 |
| 受取利息 | 79 | 34 | 57 | 118 | - | 63 |
| 支払利息 | △ 3,345 | △ 3,416 | △ 3,353 | △ 2,559 | △ 2,348 | △ 2,794 |
| (B) 有価証券売買損益 | 43,757,824 | △ 26,579,854 | 24,015,647 | △ 9,809,921 | △ 19,552,064 | 14,549,443 |
| 売買益 | 43,818,861 | 31,300 | 24,396,575 | 494,349 | 70,260 | 14,617,741 |
| 売買損 | △ 61,037 | △ 26,611,154 | △ 380,928 | △ 10,304,270 | △ 19,622,324 | △ 68,298 |
| (C) 信託報酬等 | △ 1,360,137 | △ 1,512,958 | △ 1,522,719 | △ 1,378,770 | △ 1,425,918 | △ 1,395,760 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 51,018,836 | △ 18,581,642 | 31,535,034 | △ 1,334,208 | △ 13,503,919 | 20,874,999 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 1,071,302,222 | △ 1,007,270,264 | △ 1,011,663,866 | △ 971,247,985 | △ 970,451,300 | △ 985,328,737 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 594,760,585 | △ 586,471,574 | △ 578,174,531 | △ 570,557,120 | △ 568,148,942 | △ 566,881,840 |
| (配当等相当額) | (21,133,926) | (21,027,995) | (20,926,676) | (20,758,570) | (20,829,355) | (20,888,082) |
| (売買損益相当額) | (△ 615,894,511) | (△ 607,499,569) | (△ 599,101,207) | (△ 591,315,690) | (△ 588,978,297) | (△ 587,769,922) |
| (G) 計(D+E+F) | △ 1,615,043,971 | △ 1,612,323,480 | △ 1,558,303,363 | △ 1,543,139,313 | △ 1,552,104,161 | △ 1,531,335,578 |
| (H) 収益分配金 | △ 8,753,997 | △ 8,592,185 | △ 8,427,798 | △ 8,293,869 | △ 8,225,305 | △ 8,182,559 |
| 次期繰越損益金(G+H) | △ 1,623,797,968 | △ 1,620,915,665 | △ 1,566,731,161 | △ 1,551,433,182 | △ 1,560,329,466 | △ 1,539,518,137 |
| 追加信託差損益金 | △ 594,760,585 | △ 586,471,574 | △ 578,174,531 | △ 570,557,120 | △ 568,148,942 | △ 566,881,840 |
| (配当等相当額) | (21,133,926) | (21,027,995) | (20,926,676) | (20,758,570) | (20,829,355) | (20,888,082) |
| (売買損益相当額) | (△ 615,894,511) | (△ 607,499,569) | (△ 599,101,207) | (△ 591,315,690) | (△ 588,978,297) | (△ 587,769,922) |
| 分配準備積立金 | 108,102,470 | 105,261,578 | 103,176,222 | 101,577,492 | 98,338,825 | 96,726,783 |
| 繰越損益金 | △ 1,137,139,853 | △ 1,139,705,669 | △ 1,091,732,852 | △ 1,082,453,554 | △ 1,090,519,349 | △ 1,069,363,080 |

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 3,480,012,339円

 作成期中追加設定元本額 70,090,694円

 作成期中一部解約元本額 277,079,417円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5296円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,539,518,137円です。

③分配金の計算過程

| 項 目 | 2017年6月13日～ 2017年7月10日 | 2017年7月11日～ 2017年8月10日 | 2017年8月11日～ 2017年9月11日 | 2017年9月12日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月10日 | 2017年11月11日～ 2017年12月11日 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | 8,397,260円 | 7,998,210円 | 8,625,640円 | 8,475,713円 | 6,048,145円 | 7,237,402円 |
| 費用控除後・繰越大損金繰戻後の有価証券売買等損益額 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 |
| 収益調整金額 | 21,133,926円 | 21,027,995円 | 20,926,676円 | 20,758,570円 | 20,829,355円 | 20,888,082円 |
| 分配準備積立金額 | 108,459,207円 | 105,855,553円 | 102,978,380円 | 101,395,648円 | 100,515,985円 | 97,671,940円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | 137,990,393円 | 134,881,758円 | 132,530,696円 | 130,629,931円 | 127,393,485円 | 125,797,424円 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | 394円 | 392円 | 393円 | 393円 | 387円 | 384円 |
| 1万口当たり分配金額 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 |
| 収益分配金金額 | 8,753,997円 | 8,592,185円 | 8,427,798円 | 8,293,869円 | 8,225,305円 | 8,182,559円 |

○分配金のお知らせ

| | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 | 第121期 | 第122期 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 |

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

①信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに信託約款の記載整備を行いました。（2017年9月12日）

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年12月11日現在）

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(1,275,034千口)の内容です。

国内その他有価証券

| 区 分 | 第122期末 | |
|-------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コマーシャル・ペーパー | 千円 1,199,999 | % 92.4 |

（注）比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)

| | |
|------------|-------------|
| 《第117期》決算日 | 2017年6月7日 |
| 《第118期》決算日 | 2017年7月7日 |
| 《第119期》決算日 | 2017年8月7日 |
| 《第120期》決算日 | 2017年9月7日 |
| 《第121期》決算日 | 2017年10月10日 |
| 《第122期》決算日 | 2017年11月7日 |

[計算期間：2017年5月9日～2017年11月7日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|--|
| 信託期間 | 原則無期限 | |
| 運用方針 | 主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | ベビーファンド | 新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合があります。 |
| | マザーファンド | 新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | ベビーファンド | マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限りません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限りません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 原則として、毎決算時（毎月7日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日）に、配当等収益を中心に繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、委託者の判断により分配を行わない場合もあります。収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 | |

運用会社：モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社

最近5作成期の運用実績

| 作成期 | 基準価額 (分配落) | | | 参考指数 期中騰落率 | 債券 組入比率 | 債券 先物比率 | 純資産 総額 | | |
|--------|--------------------|-----------|-----------|---------------|------------|------------|-----------|---|-------|
| | 円 | 税込 分配金 | 期中 騰落率 | | | | | | |
| 第17作成期 | 93期 (2015年6月8日) | 6,264 | 37 | 1.6 | 32,372.66 | 0.6 | 97.9 | — | 3,114 |
| | 94期 (2015年7月7日) | 6,132 | 35 | △1.5 | 31,723.86 | △2.0 | 97.7 | — | 2,965 |
| | 95期 (2015年8月7日) | 5,958 | 32 | △2.3 | 30,946.25 | △2.5 | 97.9 | — | 2,795 |
| | 96期 (2015年9月7日) | 5,347 | 33 | △9.7 | 27,995.62 | △9.5 | 98.2 | — | 2,412 |
| | 97期 (2015年10月7日) | 5,454 | 27 | 2.5 | 28,945.98 | 3.4 | 97.9 | — | 2,421 |
| | 98期 (2015年11月9日) | 5,570 | 34 | 2.8 | 29,643.72 | 2.4 | 97.0 | — | 2,421 |
| 第18作成期 | 99期 (2015年12月7日) | 5,486 | 30 | △1.0 | 29,592.76 | △0.2 | 96.5 | — | 2,360 |
| | 100期 (2016年1月7日) | 5,046 | 28 | △7.5 | 27,205.22 | △8.1 | 96.8 | — | 2,113 |
| | 101期 (2016年2月8日) | 5,063 | 27 | 0.9 | 27,667.74 | 1.7 | 97.8 | — | 2,088 |
| | 102期 (2016年3月7日) | 5,048 | 24 | 0.2 | 27,892.54 | 0.8 | 97.7 | — | 2,073 |
| | 103期 (2016年4月7日) | 5,006 | 27 | △0.3 | 27,909.97 | 0.1 | 98.2 | — | 2,023 |
| | 104期 (2016年5月9日) | 4,929 | 28 | △1.0 | 27,673.32 | △0.8 | 97.8 | — | 1,986 |
| 第19作成期 | 105期 (2016年6月7日) | 4,887 | 24 | △0.4 | 27,679.45 | 0.0 | 97.1 | — | 1,937 |
| | 106期 (2016年7月7日) | 4,650 | 25 | △4.3 | 26,482.61 | △4.3 | 97.1 | — | 1,812 |
| | 107期 (2016年8月8日) | 4,781 | 25 | 3.4 | 27,397.16 | 3.5 | 97.9 | — | 1,829 |
| | 108期 (2016年9月7日) | 4,783 | 27 | 0.6 | 27,653.94 | 0.9 | 98.0 | — | 1,815 |
| | 109期 (2016年10月7日) | 4,836 | 24 | 1.6 | 28,199.77 | 2.0 | 98.2 | — | 1,821 |
| | 110期 (2016年11月7日) | 4,796 | 27 | △0.3 | 27,861.38 | △1.2 | 97.6 | — | 1,792 |
| 第20作成期 | 111期 (2016年12月7日) | 4,928 | 24 | 3.3 | 28,946.11 | 3.9 | 95.7 | — | 1,815 |
| | 112期 (2017年1月10日) | 5,011 | 31 | 2.3 | 29,728.67 | 2.7 | 96.4 | — | 1,821 |
| | 113期 (2017年2月7日) | 4,981 | 25 | △0.1 | 29,543.79 | △0.6 | 96.9 | — | 1,804 |
| | 114期 (2017年3月7日) | 5,096 | 22 | 2.8 | 30,384.45 | 2.8 | 92.3 | — | 1,820 |
| | 115期 (2017年4月7日) | 5,029 | 27 | △0.8 | 30,187.38 | △0.6 | 95.8 | — | 1,761 |
| | 116期 (2017年5月8日) | 5,142 | 28 | 2.8 | 31,144.31 | 3.2 | 96.8 | — | 1,783 |
| 第21作成期 | 117期 (2017年6月7日) | 5,075 | 24 | △0.8 | 31,137.85 | △0.0 | 97.4 | — | 1,751 |
| | 118期 (2017年7月7日) | 5,186 | 25 | 2.7 | 31,598.44 | 1.5 | 97.4 | — | 1,789 |
| | 119期 (2017年8月7日) | 5,198 | 28 | 0.8 | 31,917.79 | 1.0 | 98.5 | — | 1,766 |
| | 120期 (2017年9月7日) | 5,227 | 27 | 1.1 | 32,359.11 | 1.4 | 98.2 | — | 1,764 |
| | 121期 (2017年10月10日) | 5,196 | 30 | △0.0 | 32,465.18 | 0.3 | 98.1 | — | 1,707 |
| | 122期 (2017年11月7日) | 5,149 | 23 | △0.5 | 32,254.17 | △0.6 | 97.1 | — | 1,674 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。
JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。

過去6ヶ月間の基準価額と市況等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入比率 | 債券先物比率 |
|-------|------------------|-------|------|-----------|------|--------|--------|
| | | 円 | 騰落率 | | 騰落率 | | |
| 第117期 | (期首) 2017年5月8日 | 5,142 | — | 31,144.31 | — | 96.8 | — |
| | 5月末 | 5,088 | △1.1 | 31,119.95 | △0.1 | 97.0 | — |
| | (期末) 2017年6月7日 | 5,099 | △0.8 | 31,137.85 | △0.0 | 97.4 | — |
| 第118期 | (期首) 2017年6月7日 | 5,075 | — | 31,137.85 | — | 97.4 | — |
| | 6月末 | 5,211 | 2.7 | 31,744.16 | 1.9 | 97.0 | — |
| | (期末) 2017年7月7日 | 5,211 | 2.7 | 31,598.44 | 1.5 | 97.4 | — |
| 第119期 | (期首) 2017年7月7日 | 5,186 | — | 31,598.44 | — | 97.4 | — |
| | 7月末 | 5,209 | 0.4 | 31,849.00 | 0.8 | 97.8 | — |
| | (期末) 2017年8月7日 | 5,226 | 0.8 | 31,917.79 | 1.0 | 98.5 | — |
| 第120期 | (期首) 2017年8月7日 | 5,198 | — | 31,917.79 | — | 98.5 | — |
| | 8月末 | 5,261 | 1.2 | 32,368.41 | 1.4 | 98.2 | — |
| | (期末) 2017年9月7日 | 5,254 | 1.1 | 32,359.11 | 1.4 | 98.2 | — |
| 第121期 | (期首) 2017年9月7日 | 5,227 | — | 32,359.11 | — | 98.2 | — |
| | 9月末 | 5,296 | 1.3 | 32,822.58 | 1.4 | 98.1 | — |
| | (期末) 2017年10月10日 | 5,226 | △0.0 | 32,465.18 | 0.3 | 98.1 | — |
| 第122期 | (期首) 2017年10月10日 | 5,196 | — | 32,465.18 | — | 98.1 | — |
| | 10月末 | 5,135 | △1.2 | 32,215.86 | △0.8 | 96.7 | — |
| | (期末) 2017年11月7日 | 5,172 | △0.5 | 32,254.17 | △0.6 | 97.1 | — |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

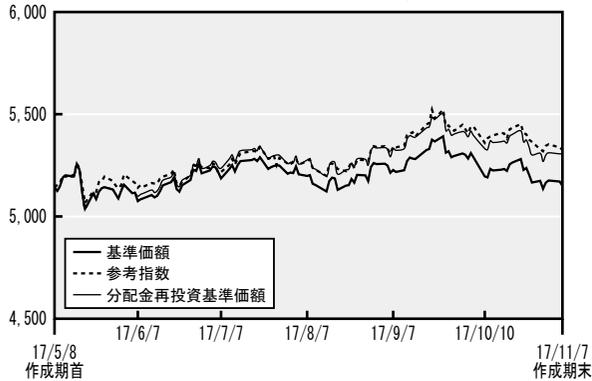
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

運用経過

基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額、参考指数は作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

(注2) 参考指数としてJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

◆ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額は期首比3.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

◆ 基準価額の主な変動要因および投資環境について

◎新興国現地通貨建て債券（現地通貨ベース）の高水準なインカム収入

- ・新興国現地通貨建て債券は高水準のインカム収入を背景に安定的に推移し、代表的市場インデックスであるJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）の当該期間のリターンは+2.9%となりました。

◎新興国通貨は米ドルに対して概ね横ばい

- ・新興国通貨は対米ドルで $\Delta 0.2\%$ となりました。JPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）は、新興国債券市場（現地通貨ベース）が上昇したことで、期首比+2.7%となりました。

◎米ドル／円は上昇

- ・当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは+0.7%（円安）となり、新興国通貨の対円でのリターンは+1.0%（円安）となりました。

◎投資環境について

- ・新興国債券市場は、景気や物価など新興国の経済ファンダメンタルズの安定化や、新興国債券市場への資金フローが流入傾向で推移したこと、また相対的に高いキャリーを背景に堅調に推移しました。
- ・新興国為替市場は、政治情勢の不透明感を背景に一部通貨が下落する局面があった一方で、経済状況の改善や金融政策については将来的な利上げへの転換が期待された中東欧通貨が堅調に推移したことで、総じて安定的に推移しました。米ドル／円は、地政学的リスクへの懸念から円高米ドル安が進行する局面があったものの、米国での利上げ継続期待等を背景に若干の円安米ドル高となりました。

◆ 当該投資信託のポートフォリオについて

◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国の国債を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①国内経済が比較的良好で、ECB（欧州中央銀行）の金融政策の影響を受けつつ将来的な利上げへの転換が期待されたポーランドや、②成長期待が高く、インカム・ゲインが高いトルコ、などへの投資を継続しました。
- ・中南米地域では、①インフレへの懸念が落ち着き、中長期的には構造改革の進展が期待されたメキシコ、②インフレなど経済ファンダメンタルズが安定化したことや、また利回りが相対的に高いブラジル、③原油価格が安定化したことで先行きの経済の不透明感が解消されつつあるコロンビア、などへの投資を継続しました。
- ・アジアでは、物価や経常収支の改善など経済ファンダメンタルズが安定化していることに加えて、構造改革の進展が中長期的な成長に寄与すると期待されることや、アジア地域内では利回りが相対的に高いことなどを背景に投資魅力度が高いと考えられるインドネシアに引き続き投資しております。

◎金利戦略

- ・金利変動による影響を抑制しつつ、相対的に高いキャリーを享受するために、短期債を中心に投資を行いました。
- ・一方、メキシコやペルーなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

◆ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークは設定しておりません。参考指数は、JPモルガンGBI-EMグローバルダイバーシファイド（円換算ベース）です。作成期中の騰落率は、ファンドが+3.2%（分配金再投資ベース）、参考指数が+3.6%となりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。

◆ 分配金について

当作成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第117期24円、第118期25円、第119期28円、第120期27円、第121期30円、第122期23円（作成期中合計157円）とさせていただきます。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・グローバル経済については、緩やかなペースでの景気の拡大が持続しています。特に米国や欧州を中心に比較的安定的な経済成長ペースが維持されています。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、相対的に高い経済成長が期待されます。経常収支などの経済ファンダメンタルズの脆弱な国、財政基盤の脆弱な国、政治的な不安定さが残る国などには注視が必要であると考えられますが、一部の国においては、インフレや経常収支など経済ファンダメンタルズの改善が確認されており、新興国全体としても経済環境が安定化していることがポジティブな要因として考えられます。
- ・金融政策に関しては、米国においてFRB（連邦準備制度理事会）は経済の状況を確認しながら非常に緩やかなペースで利上げを行うことが想定されます。一方で、世界的にインフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めへ転換する可能性は低いと考えられ、債券市場は全般的に安定的な推移が見込まれます。
- ・中長期的な観点からは、先進国債券市場と比較して新興国債券市場は相対的に高金利であることから、キャリー収益の積み上げが期待出来ることもポジティブです。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズ対比で引き続き割安な投資対象であると考えています。

◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

上記は将来の市況環境の変動等を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第117期～第122期 (2017年5月9日～2017年11月7日) | | 項目の概要 |
|---|---------------------------------------|--|--|
| | 金額 | 比率 | |
| | a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 23円 (22) (0) (1) | |
| b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他) | 8 (5) (2) (1) | 0.151 (0.103) (0.035) (0.013) | b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 31 | 0.595 | |

当作成期中の平均基準価額は、5,200円です。

(注1) 作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況

(2017年5月9日から2017年11月7日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 決算期 | 第117期～第122期 | | | |
|-------------------|-------------|----|---------|---------|
| | 設定 | | 解約 | |
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 新興国現地通貨建債券マザーファンド | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | — | — | 133,934 | 174,399 |

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等

(2017年5月9日から2017年11月7日まで)

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2017年11月7日現在)

親投資信託残高

| 種 類 | 第 20 作 成 期 末 | | 第 21 作 成 期 末 | |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| 新興国現地通貨建債券マザーファンド | 千口 1,416,378 | 千口 1,282,444 | 千口 1,674,744 | 千円 1,674,744 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

(2017年11月7日現在)

| 項 目 | 第 21 作 成 期 末 | |
|-------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 新興国現地通貨建債券マザーファンド | 千円 1,674,744 | % 99.4 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 10,904 | 0.6 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 1,685,648 | 100.0 |

(注1) 新興国現地通貨建債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(1,674,436千円)の投資信託財産総額(1,685,504千円)に対する比率は99.3%です。

(注2) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年11月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.73円、1メキシコペソ=5.98円、1ブラジルレアル=34.98円、100チリペソ=17.96円、100コロンビアペソ=3.74円、1ペルーソール=35.12円、1トルコリラ=29.73円、100ハンガリーフォリント=42.48円、1ポーランドズロチ=31.17円、100インドネシアルピア=0.84円、1南アフリカランド=8.07円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

| 項 目 | 第117期末 2017/6/7現在 | 第118期末 2017/7/7現在 | 第119期末 2017/8/7現在 | 第120期末 2017/9/7現在 | 第121期末 2017/10/10現在 | 第122期末 2017/11/7現在 |
|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|
| (A) 資産 | 1,760,874,604円 | 1,799,527,031円 | 1,784,464,584円 | 1,775,095,887円 | 1,720,687,778円 | 1,685,648,739円 |
| コール・ローン等 | 83,389 | 80,837 | 87,364 | 124,402 | 128,375 | 134,656 |
| 新興国現地通貨建債券 マザーファンド(評価額) | 1,751,091,215 | 1,789,386,194 | 1,772,227,221 | 1,764,381,485 | 1,709,129,403 | 1,674,744,084 |
| 未収入金 | 9,700,000 | 10,060,000 | 12,149,999 | 10,590,000 | 11,430,000 | 10,769,999 |
| (B) 負債 | 9,702,552 | 10,053,473 | 17,712,960 | 10,586,026 | 13,523,717 | 10,767,286 |
| 未払収益分配金 | 8,280,675 | 8,625,704 | 9,516,549 | 9,114,149 | 9,856,924 | 7,480,866 |
| 未払解約金 | — | — | 6,699,998 | — | 2,099,999 | 1,999,999 |
| 未払信託報酬 | 1,290,716 | 1,296,065 | 1,355,278 | 1,322,547 | 1,407,834 | 1,155,905 |
| その他未払費用 | 131,161 | 131,704 | 141,135 | 149,330 | 158,960 | 130,516 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 1,751,172,052 | 1,789,473,558 | 1,766,751,624 | 1,764,509,861 | 1,707,164,061 | 1,674,881,453 |
| 元本 | 3,450,281,664 | 3,450,281,664 | 3,398,767,583 | 3,375,610,908 | 3,285,641,407 | 3,252,550,682 |
| 次期繰越損益金 | △1,699,109,612 | △1,660,808,106 | △1,632,015,959 | △1,611,101,047 | △1,578,477,346 | △1,577,669,229 |
| (D) 受益権総口数 | 3,450,281,664口 | 3,450,281,664口 | 3,398,767,583口 | 3,375,610,908口 | 3,285,641,407口 | 3,252,550,682口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 5,075円 | 5,186円 | 5,198円 | 5,227円 | 5,196円 | 5,149円 |

損益の状況

| 項 目 | 第117期 2017/5/9~2017/6/7 | 第118期 2017/6/8~2017/7/7 | 第119期 2017/7/8~2017/8/7 | 第120期 2017/8/8~2017/9/7 | 第121期 2017/9/8~2017/10/10 | 第122期 2017/10/11~2017/11/7 |
|------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| (A) 配当等収益 | -円 | -円 | -円 | -円 | △ 1円 | △ 1円 |
| 支払利息 | — | — | — | — | △ 1 | △ 1 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 13,220,124 | 48,354,979 | 15,006,156 | 20,373,790 | 1,090,424 | △ 6,332,653 |
| 売 買 益 | 13,549 | 48,354,979 | 15,191,023 | 20,486,821 | 1,591,825 | 63,173 |
| 売 買 損 | △ 13,233,673 | — | △ 184,867 | △ 113,031 | △ 501,401 | △ 6,395,826 |
| (C) 信託報酬等 | △ 1,421,877 | △ 1,427,769 | △ 1,496,413 | △ 1,471,877 | △ 1,566,794 | △ 1,286,421 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 14,642,001 | 46,927,210 | 13,509,743 | 18,901,913 | △ 476,371 | △ 7,619,075 |
| (E) 前期繰越損益金 | △1,146,464,303 | △1,169,386,979 | △1,114,195,437 | △1,102,630,251 | △1,063,698,940 | △1,063,204,640 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 529,722,633 | △ 529,722,633 | △ 521,813,716 | △ 518,258,560 | △ 504,445,111 | △ 499,364,648 |
| (配当等相当額) | (1,949) | (1,949) | (1,920) | (1,907) | (1,857) | (1,839) |
| (売買損益相当額) | (△ 529,724,582) | (△ 529,724,582) | (△ 521,815,636) | (△ 518,260,467) | (△ 504,446,968) | (△ 499,366,487) |
| (G) 計(D+E+F) | △1,690,828,937 | △1,652,182,402 | △1,622,499,410 | △1,601,986,898 | △1,568,620,422 | △1,570,188,363 |
| (H) 収益分配金 | △ 8,280,675 | △ 8,625,704 | △ 9,516,549 | △ 9,114,149 | △ 9,856,924 | △ 7,480,866 |
| 次期繰越損益金(G+H) | △1,699,109,612 | △1,660,808,106 | △1,632,015,959 | △1,611,101,047 | △1,578,477,346 | △1,577,669,229 |
| 追加信託差損益金 | △ 529,722,633 | △ 529,722,633 | △ 521,813,716 | △ 518,258,560 | △ 504,445,111 | △ 499,364,648 |
| (配当等相当額) | (1,949) | (1,949) | (1,920) | (1,907) | (1,857) | (1,839) |
| (売買損益相当額) | (△ 529,724,582) | (△ 529,724,582) | (△ 521,815,636) | (△ 518,260,467) | (△ 504,446,968) | (△ 499,366,487) |
| 分準備積立金 | 664,611 | 1,495,962 | 1,205,992 | 1,444,236 | 560,014 | 465,069 |
| 繰越損益金 | △1,170,051,590 | △1,132,581,435 | △1,111,408,235 | △1,094,286,723 | △1,074,592,249 | △1,078,769,650 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

- ①作成期首元本額 3,468,210,340円
 作成期中追加設定元本額 -円
 作成期中一部解約元本額 215,659,658円

②元本の欠損

貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,577,669,229円（第122期末）であります。

③分配金の計算過程

| | | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 | 第121期 | 第122期 |
|---------------------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 8,280,697円 | 9,457,055円 | 9,246,321円 | 9,352,507円 | 8,995,818円 | 7,380,961円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 |
| 収益調整金額 | C | 1,949円 | 1,949円 | 1,920円 | 1,907円 | 1,857円 | 1,839円 |
| 分配準備積立金額 | D | 664,589円 | 664,611円 | 1,476,220円 | 1,205,878円 | 1,421,120円 | 564,974円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 8,947,235円 | 10,123,615円 | 10,724,461円 | 10,560,292円 | 10,418,795円 | 7,947,774円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,450,281,664口 | 3,450,281,664口 | 3,398,767,583口 | 3,375,610,908口 | 3,285,641,407口 | 3,252,550,682口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 25円 | 29円 | 31円 | 31円 | 31円 | 24円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 24円 | 25円 | 28円 | 27円 | 30円 | 23円 |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 8,280,675円 | 8,625,704円 | 9,516,549円 | 9,114,149円 | 9,856,924円 | 7,480,866円 |

（注）配当等収益には、当ファンドに帰属すべきマザーファンドの配当等収益を含んでおります。

分配金のお知らせ

■ 収益分配金および分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

| 項 目 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 | 第121期 | 第122期 |
|-----------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|----------------------------|
| | 2017年5月9日～ 2017年6月7日 | 2017年6月8日～ 2017年7月7日 | 2017年7月8日～ 2017年8月7日 | 2017年8月8日～ 2017年9月7日 | 2017年9月8日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月7日 |
| 当期分配金 | 24 | 25 | 28 | 27 | 30 | 23 |
| （対基準価額比率） | 0.471% | 0.480% | 0.536% | 0.514% | 0.574% | 0.445% |
| 当期の収益 | 24 | 25 | 27 | 27 | 27 | 22 |
| 当期の収益以外 | — | — | 0 | — | 2 | 0 |
| 翌期繰越分配対象額 | 1 | 4 | 3 | 4 | 1 | 1 |

（注1）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、「当期分配金」と一致しない場合があります。

【お知らせ】

該当事項はありません。

新興国現地通貨建債券マザーファンド

《第11期》決算日2017年11月7日

[計算期間：2016年11月8日～2017年11月7日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。 |
| 主要運用対象 | 新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基準 価 額 | | 参 考 指 数 | | 債 券 組入比率 | 債 券 先物比率 |
|---------------------|-------------|--------|-----------|--------|-------------|-------------|
| | 円 | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | | |
| (期 首) 2016年11月7日 | 円 11,330 | % — | | % — | % 97.6 | % — |
| 11月末 | 11,413 | 0.7 | 27,861.38 | 1.0 | 97.1 | — |
| 12月末 | 12,053 | 6.4 | 29,797.09 | 6.9 | 95.5 | — |
| 2017年1月末 | 12,039 | 6.3 | 29,693.26 | 6.6 | 96.2 | — |
| 2月末 | 12,233 | 8.0 | 30,171.93 | 8.3 | 92.7 | — |
| 3月末 | 12,374 | 9.2 | 30,919.90 | 11.0 | 93.9 | — |
| 4月末 | 12,380 | 9.3 | 30,676.64 | 10.1 | 96.2 | — |
| 5月末 | 12,465 | 10.0 | 31,119.95 | 11.7 | 96.9 | — |
| 6月末 | 12,837 | 13.3 | 31,744.16 | 13.9 | 97.0 | — |
| 7月末 | 12,904 | 13.9 | 31,849.00 | 14.3 | 97.8 | — |
| 8月末 | 13,115 | 15.8 | 32,368.41 | 16.2 | 98.1 | — |
| 9月末 | 13,280 | 17.2 | 32,822.58 | 17.8 | 97.9 | — |
| 10月末 | 12,961 | 14.4 | 32,215.86 | 15.6 | 96.6 | — |
| (期 末) 2017年11月7日 | 13,059 | 15.3 | 32,254.17 | 15.8 | 97.1 | — |

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバースファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

運用経過

基準価額等の推移



(注1) 参考指数は期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

(注2) 参考指数としてJPモルガン GBI-E M グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

◎米ドル/円は上昇

- ・当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは+9.1% (円安) となり、新興国通貨の対円でのリターンは+8.0% (円安) となりました。

◎投資環境について

- ・新興国債券市場は、選挙等の政治イベントを受けて一時的にボラティリティが高まる局面があったものの、景気や物価など新興国の経済ファンダメンタルズの安定化や、新興国債券市場への資金フローが流入傾向で推移したこと、また相対的に高いキャリーを背景に安定的に推移しました。
- ・新興国為替市場は、米国の大統領選後に新大統領が掲げる保護貿易主義的な政策による隣国メキシコ等への影響が懸念され、一部通貨が下落する局面がありました。しかしその後は、資源価格の上昇を受けて一部の資源国通貨が特に上昇したことや、経済状況の改善や金融政策については将来的な利上げへの転換が期待された中東欧通貨が堅調に推移したこと、また、割安感や相対的に高いキャリーを背景に新興国債券市場への資金フローが流入したことで、新興国為替市場は総じて堅調に推移しました。米ドル/円は、地政学的リスクへの懸念から円高米ドル安が進行する局面があったものの、米国での利上げ継続期待等を背景に円安米ドル高となりました。

◆ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額は期首比15.3%の上昇となりました。

◆ 基準価額の主な変動要因および投資環境について

- ◎新興国現地通貨建て債券（現地通貨ベース）の高水準なインカム収入
 - ・新興国現地通貨建て債券は高水準のインカム収入を背景に安定的に推移し、代表的市場インデックスであるJPモルガン GBI-E M グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）の当該期間のリターンは+6.2%となりました。

◎新興国通貨は米ドルに対して下落

- ・新興国通貨は対米ドルで $\Delta 1.0\%$ となりました。JPモルガン GBI-E M グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）は、新興国債券市場（現地通貨ベース）が上昇したことで、期首比+5.1%となりました。

◆ 当該投資信託のポートフォリオについて

◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①国内経済が比較的良好で、ECB（欧州中央銀行）の金融政策の影響を受けつつ将来的な利上げへの転換が期待されたポーランドや、②成長期待が高く、インカム・ゲインが高いトルコ、などへの投資を継続しました。
- ・中南米地域では、①インフレへの懸念が落ち着き、中長期的には構造改革の進展が期待されたメキシコ、②インフレなど経済ファンダメンタルズが安定化したことや、また利回りが相対的に高いブラジル、③原油価格が安定化したことで先行きの経済の不透明感が解消されつつあるコロンビア、などへの投資を継続しました。
- ・アジアでは、物価や経常収支の改善など経済ファンダメンタルズが安定化していることに加えて、構造改革の進展が中長期的な成長に寄与すると期待されることや、アジア地域内では利回りが相対的に高いことなどを背景に投資魅力度が高いと考えられるインドネシアに引き続き投資しております。

◎金利戦略

- ・金利変動による影響を抑制しつつ、相対的に高いキャリーを享受するために、短期債を中心に投資を行いました。
- ・一方、メキシコやペルーなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

◆ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークは設定しておりません。参考指数は、JPモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。期中の騰落率は、ファンドが+15.3%、参考指数が+15.8%となりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・グローバル経済については、緩やかなペースでの景気の拡大が持続しています。特に米国や欧州を中心に比較的安定的な経済成長ペースが維持されています。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、相対的に高い経済成長が期待されます。経常収支などの経済ファンダメンタルズの脆弱な国、財政基盤の脆弱な国、政治的な不安定さが残る国などには注視が必要であると考えられますが、一部の国においては、インフレや経常収支など経済ファンダメンタルズの改善が確認されており、新興国全体としても経済環境が安定化していることがポジティブな要因として考えられます。
- ・金融政策に関しては、米国においてFRB（連邦準備制度理事会）は経済の状況を確認しながら非常に緩やかなペースで利上げを行うことが想定されます。一方で、世界的にインフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めへ転換する可能性は低いと考えられ、債券市場は全般的に安定的な推移が見込まれます。
- ・中長期的な観点からは、先進国債券市場と比較して新興国債券市場は相対的に高金利であることから、キャリー収益の積み上げが期待出来ることもポジティブです。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズ対比で引き続き割安な投資対象であると考えています。

◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------------|-------------------------|-------------------|---|
| | (2016年11月8日～2017年11月7日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| その他費用 (保管費用) | 25円 (25) | 0.201% (0.200) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| (その他) | (0) | (0.001) | |
| 合計 | 25 | 0.201 | |

当期中の平均基準価額は、12,504円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

売買および取引の状況

(2016年11月8日から2017年11月7日まで)

公社債

| | | | 買付額 | 売付額 |
|--------|-------|------|-------------------|--------------------------|
| 外 国 | メキシコ | 国債証券 | 千メキシコペソ 8,010 | 千メキシコペソ 12,298 |
| | ブラジル | 国債証券 | 千ブラジルレアル 3,851 | 千ブラジルレアル 4,245 |
| | チリ | 国債証券 | 千チリペソ — | 千チリペソ 53,018 |
| | コロンビア | 国債証券 | 千コロンビアペソ — | 千コロンビアペソ 641,762 |
| | トルコ | 国債証券 | 千トルコリラ — | 千トルコリラ 291 |
| | ハンガリー | 国債証券 | 千ハンガリーフォリント — | 千ハンガリーフォリント (232,200) |

| | | | 買付額 | 売付額 |
|--------|--------|------|-----------------|-------------------------|
| 外 国 | インドネシア | 国債証券 | 千インドネシアルピア — | 千インドネシアルピア 3,272,400 |
| | 南アフリカ | 国債証券 | 千南アフリカランド — | 千南アフリカランド 7,140 |

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等

(2016年11月8日から2017年11月7日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2017年11月7日現在)

◆ 公社債

(A) 債券種類別開示 外国（外貨建）公社債

| 区 分 | 当 期 | | | 組入比率 | う ち B B 格 以下組入比率 | 末 | | |
|-------------|--------------------------|--------------------------|---------------|-----------|---------------------|----------|----------|---------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | | | 5 年 以 上 | 2 年 以 上 | 2 年 未 満 |
| | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | | | | |
| メ キ シ コ | 千メキシコペソ 28,700 | 千メキシコペソ 29,133 | 千円 174,217 | % 10.4 | % — | % 8.8 | % 1.6 | % — |
| ブ ラ ジ ル | 千ブラジルレアル 6,008 | 千ブラジルレアル 6,150 | 215,134 | 12.8 | 12.8 | — | 12.8 | — |
| チ リ | 千チリペソ 616,000 | 千チリペソ 650,409 | 116,813 | 7.0 | — | — | 7.0 | — |
| コ ロ ン ビ ア | 千コロンビアペソ 2,930,000 | 千コロンビアペソ 2,781,156 | 104,015 | 6.2 | — | 6.2 | — | — |
| ペ ル ー | 千ペルーソル 6,390 | 千ペルーソル 6,893 | 242,094 | 14.5 | — | 14.5 | — | — |
| ト ル コ | 千トルコリラ 5,455 | 千トルコリラ 5,220 | 155,203 | 9.3 | — | — | 9.3 | — |
| ポ ー ラ ン ド | 千ポーランドズロチ 6,908 | 千ポーランドズロチ 7,219 | 225,030 | 13.4 | — | — | — | 13.4 |
| イ ン ド ネ シ ア | 千インドネシアルピア 25,288,000 | 千インドネシアルピア 27,562,377 | 231,523 | 13.8 | — | 13.8 | — | — |
| 南 ア フ リ カ | 千南アフリカランド 20,465 | 千南アフリカランド 20,184 | 162,891 | 9.7 | — | — | 9.7 | — |
| 合 計 | — | — | 1,626,924 | 97.1 | 12.8 | 43.3 | 40.4 | 13.4 |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示 外国（外貨建）公社債

| 銘柄 | 種類 | 利率 | 当 期 額 面 金 額 | 末 | | 償還年月日 |
|-----------------------------|------|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | | | | 評 価 額 | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (メキシコ) MEXICO MEXICO | 国債証券 | % 6.5 7.5 | 千メキシコペソ 4,600 24,100 | 千メキシコペソ 4,528 24,604 | 千円 27,081 147,135 | 2021/6/10 2027/6/3 |
| 小計 | | | | | 174,217 | |
| (ブラジル) BRAZIL | 国債証券 | 10.0 | 千ブラジルレアル 6,008 | 千ブラジルレアル 6,150 | 215,134 | 2021/1/1 |
| 小計 | | | | | 215,134 | |
| (チリ) CHILE | 国債証券 | 5.5 | 千チリペソ 616,000 | 千チリペソ 650,409 | 116,813 | 2020/8/5 |
| 小計 | | | | | 116,813 | |
| (コロンビア) COLOMBIA | 国債証券 | 4.375 | 千コロンビアペソ 2,930,000 | 千コロンビアペソ 2,781,156 | 104,015 | 2023/3/21 |
| 小計 | | | | | 104,015 | |
| (ペルー) PERU | 国債証券 | 6.35 | 千ペルーソル 6,390 | 千ペルーソル 6,893 | 242,094 | 2028/8/12 |
| 小計 | | | | | 242,094 | |
| (トルコ) TURKEY | 国債証券 | 10.5 | 千トルコリラ 5,455 | 千トルコリラ 5,220 | 155,203 | 2020/1/15 |
| 小計 | | | | | 155,203 | |
| (ポーランド) POLAND POLAND | 国債証券 | 3.75 5.5 | 千ポーランドズロチ 3,328 3,580 | 千ポーランドズロチ 3,370 3,848 | 105,061 119,968 | 2018/4/25 2019/10/25 |
| 小計 | | | | | 225,030 | |
| (インドネシア) INDONESIA | 国債証券 | 8.375 | 千インドネシアルピア 25,288,000 | 千インドネシアルピア 27,562,377 | 231,523 | 2024/3/15 |
| 小計 | | | | | 231,523 | |
| (南アフリカ) SOUTH AFRICA | 国債証券 | 7.25 | 千南アフリカランド 20,465 | 千南アフリカランド 20,184 | 162,891 | 2020/1/15 |
| 小計 | | | | | 162,891 | |
| 合計 | | | | | 1,626,924 | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

(2017年11月7日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公 社 債 | 千円 1,626,924 | % 96.5 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 58,580 | 3.5 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 1,685,504 | 100.0 |

(注1) 当期末における外貨建純資産(1,674,436千円)の投資信託財産総額(1,685,504千円)に対する比率は99.3%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年11月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=113.73円、1メキシコペソ=5.98円、1ブラジルレアル=34.98円、100チリペソ=17.96円、100コロンビアペソ=3.74円、1ペルーソール=35.12円、1トルコリラ=29.73円、100ハンガリーフォリント=42.48円、1ポーランドズロチ=31.17円、100インドネシアルピア=0.84円、1南アフリカランド=8.07円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月7日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|--------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 1,685,504,697円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 24,917,783 |
| 公 社 債(評価額) | 1,626,924,674 |
| 未 収 利 息 | 33,214,099 |
| 前 払 費 用 | 448,141 |
| (B) 負 債 | 10,770,049 |
| 未 払 解 約 金 | 10,769,999 |
| 未 払 利 息 | 30 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 20 |
| (C) 純 資 産 総 額(A-B) | 1,674,734,648 |
| 元 本 | 1,282,444,356 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 392,290,292 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 1,282,444,356口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 13,059円 |

損益の状況

(2016年11月8日から2017年11月7日まで)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------------|--------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 119,783,408円 |
| 受 取 利 息 | 119,786,658 |
| 支 払 利 息 | △ 3,250 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 140,296,300 |
| 売 買 益 | 193,670,632 |
| 売 買 損 | △ 53,374,332 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 3,608,948 |
| (D) 当 期 損 益 金(A+B+C) | 256,470,760 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 210,462,106 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | △ 74,642,574 |
| (G) 計 (D+E+F) | 392,290,292 |
| 次 期 繰 越 損 益 金(G) | 392,290,292 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

(貸借対照表関係)

| | |
|---------------------------------|----------------|
| 期首元本額 | 1,582,048,724円 |
| 期中追加設定元本額 | —円 |
| 期中一部解約元本額 | 299,604,368円 |
| 期末における元本の内訳 | |
| 新興国現地通貨建債券マザーファンド F (適格機関投資家専用) | 1,282,444,356円 |
| 期末元本額合計 | 1,282,444,356円 |

【お知らせ】

米国の銀行持株会社であるモルガン・スタンレーの関係会社となる当社は、平成27年7月に実施された(但し、平成29年7月までの猶予措置の適用あり)米国ボルカー・ルール規制により、平成29年7月以降、当社設定の私募投資信託の名称に「モルガン・スタンレー」という名称又はそれを変形させた語句を付すことが禁じられることに伴い、本投資信託の名称より「モルガン・スタンレー」の部分を削除する変更を行いました。(平成29年3月11日付)

マネー・マーケット・マザーファンド

《第26期》決算日2017年11月20日

[計算期間：2017年5月23日～2017年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第26期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。 |
| 主要運用対象 | わが国の公社債等を主要投資対象とします。 |
| 主な組入制限 | 外貨建資産への投資は行いません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | 騰落率 | 債組入比率 | 債券先物比率 | 純資産額 |
|------------------|--------|------|-------|--------|--------|
| | | | | | |
| 22期(2015年11月20日) | 10,185 | 0.0 | 91.2 | — | 27,834 |
| 23期(2016年5月20日) | 10,183 | △0.0 | 39.0 | — | 5,562 |
| 24期(2016年11月21日) | 10,184 | 0.0 | 24.4 | — | 4,420 |
| 25期(2017年5月22日) | 10,184 | 0.0 | — | — | 1,681 |
| 26期(2017年11月20日) | 10,184 | 0.0 | — | — | 1,266 |

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | 債組入比率 | 債券先物比率 |
|---------------------|--------|-----|-------|--------|
| | | | | |
| (期首) 2017年5月22日 | 10,184 | — | — | — |
| 5月末 | 10,184 | 0.0 | — | — |
| 6月末 | 10,184 | 0.0 | — | — |
| 7月末 | 10,184 | 0.0 | — | — |
| 8月末 | 10,184 | 0.0 | — | — |
| 9月末 | 10,184 | 0.0 | — | — |
| 10月末 | 10,184 | 0.0 | — | — |
| (期末) 2017年11月20日 | 10,184 | 0.0 | — | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

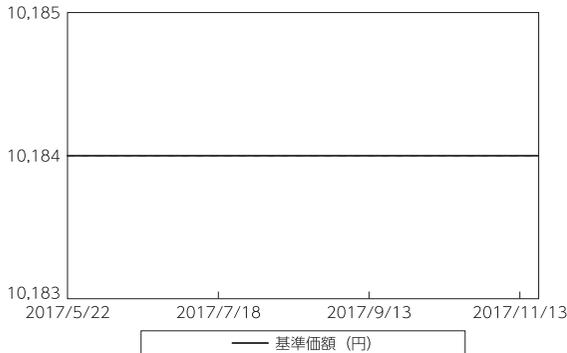
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、マイナス金利の適用以降であることから、マイナス圏で推移しました。2017年11月20日のコール・レートは-0.047%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われれます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年5月23日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年5月23日～2017年11月20日)

その他有価証券

| | | 買付額 | 売付額 |
|----|-------------|-------------|-------------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国内 | コマーシャル・ペーパー | 162,499,934 | 162,899,937 |

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月23日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

国内その他有価証券

| 区 分 | 当 期 末 | |
|-------------|-----------|------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コマーシャル・ペーパー | 1,199,999 | 94.7 |

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| その他有価証券 | 1,199,999 | 94.4 |
| コール・ローン等、その他 | 71,624 | 5.6 |
| 投資信託財産総額 | 1,271,623 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 1,271,623,466 |
| コール・ローン等 | 71,623,500 |
| 其他有価証券(評価額) | 1,199,999,966 |
| (B) 負債 | 5,066,562 |
| 未払解約金 | 5,066,444 |
| 未払利息 | 118 |
| (C) 純資産総額(A－B) | 1,266,556,904 |
| 元本 | 1,243,696,990 |
| 次期繰越損益金 | 22,859,914 |
| (D) 受益権総口数 | 1,243,696,990口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,184円 |

<注記事項>

- ①期首元本額 1,651,473,732円
 期中追加設定元本額 203,575,952円
 期中一部解約元本額 611,352,694円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0184円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

| | |
|---|--------------|
| 三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド | 313,747,092円 |
| 三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型) | 5,226,135円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型) | 8,898,354円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型) | 1,048,688円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型) | 62,265円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型) | 31,213,655円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型) | 94,134,350円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型) | 635,856円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型) | 3,078,471円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド> | 143,999,990円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型) | 89,620円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型) | 1,033,322円 |
| ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド | 2,383,743円 |
| 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型) | 212,322円 |
| PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型) | 26,506,400円 |
| PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型) | 2,272,200円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型) | 15,211,722円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型) | 457,302円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型) | 358,088円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型) | 2,100,667円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型) | 3,386,590円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型) | 344,406円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド> | 6,013,964円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型) | 9,071,898円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型) | 2,016,707円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型) | 1,970,066円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型) | 43,682,881円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型) | 1,513,806円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型) | 407,171円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド> | 75,631,547円 |

○損益の状況 (2017年5月23日～2017年11月20日)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------|-------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 11,420 |
| 受取利息 | 3,609 |
| 支払利息 | △ 15,029 |
| (B) 当期損益金(A) | △ 11,420 |
| (C) 前期繰越損益金 | 30,374,272 |
| (D) 追加信託差損益金 | 3,745,720 |
| (E) 解約差損益金 | △11,248,658 |
| (F) 計(B+C+D+E) | 22,859,914 |
| 次期繰越損益金(F) | 22,859,914 |

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

| | |
|--|-------------|
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型) | 1,364,852円 |
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型) | 600,566円 |
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型) | 1,647,957円 |
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型) | 1,979,971円 |
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型) | 140,355円 |
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド> | 1,008,013円 |
| 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型) | 31,208,972円 |
| 欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) | 6,336,371円 |
| 欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) | 5,622,977円 |
| 三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型) | 491,836円 |
| 三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 98,368円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型) | 12,561,714円 |
| PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型) | 69,931円 |
| PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型) | 158,381円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型) | 20,660円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型) | 40,278円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型) | 955,887円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型) | 1,559,264円 |
| 三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型) | 4,881,309円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型) | 19,658円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型) | 19,658円 |
| ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型) | 19,658円 |
| 三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型) | 491,449円 |
| 三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 9,828,976円 |
| PIMCO ニューワールドインカム分散コース<世界通貨分散コース> (毎月分配型) | 12,234,366円 |
| PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型) | 348,598円 |
| バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型) | 1,936,118円 |
| バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 9,829円 |
| バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型) | 9,829円 |
| バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型) | 9,829円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型) | 9,834,580円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型) | 13,128,307円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型) | 3,730,759円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型) | 14,819,878円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型) | 3,123,514円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型) | 6,722,976円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型) | 24,184,985円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型) | 3,737,703円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型) | 4,117,720円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型) | 686,803円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型) | 961,645円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型) | 608,110円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型) | 243,113円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型) | 1,809,102円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA> | 38,413,663円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB> | 979,536円 |
| 三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型) | 8,473,583円 |
| 三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 8,859,081円 |
| 三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型) | 2,464,335円 |
| 三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型) | 2,065,331円 |
| ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型) | 983円 |
| ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型) | 983円 |
| 米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型) | 5,920,244円 |
| 米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型) | 9,387,547円 |

| | |
|--|----------------|
| 三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014 | 256,356円 |
| 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) | 3,545,187円 |
| 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 8,124,755円 |
| 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) | 2,990,177円 |
| 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型) | 3,377,211円 |
| PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型) | 8,478,079円 |
| PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型) | 4,145,749円 |
| PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型) | 8,067,104円 |
| PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型) | 1,551,577円 |
| PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型) | 20,075,917円 |
| PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型) | 1,616,484円 |
| 三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型) | 25,537,767円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型) | 16,492,587円 |
| 三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型) | 3,165,280円 |
| PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型) | 128,636円 |
| PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型) | 79,540円 |
| PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型) | 1,375,000円 |
| PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型) | 1,071,396円 |
| マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け) | 491,015円 |
| PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型) | 564,702円 |
| PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型) | 89,371円 |
| 三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型) | 983円 |
| 三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 983円 |
| 三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型) | 983円 |
| 三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型) | 983円 |
| 三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型) | 3,063,931円 |
| 三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) | 6,324,266円 |
| マクロ・トータル・リターン・ファンド | 9,820円 |
| スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12 | 6,313,826円 |
| 米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり) | 412,412円 |
| 米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし) | 1,188,139円 |
| スマート・プロテクター90オープン | 981,933円 |
| 米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型) | 256,285円 |
| 米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型) | 305,382円 |
| テンブルトン新興国小型株ファンド | 49,097円 |
| ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型) | 982円 |
| ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型) | 982円 |
| ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) | 982円 |
| ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型) | 982円 |
| Navio インド債券ファンド | 885,566円 |
| Navio マネーボールファンド | 1,853,235円 |
| 三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型) | 39,351円 |
| 三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) | 11,293,333円 |
| マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定) | 9,991,647円 |
| ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし) | 10,766,608円 |
| ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり) | 21,620,196円 |
| 合計 | 1,243,696,990円 |